



〇×のつかない問いは、どう答える？

「正解の定まっていない問い」を前にしたとき、私たちは一体どんな答えを出すのでしょうか。模範解答らしきものを探し出す？
 ○がつかないなら解答する意味がないとあきらめる？ じつはそんな問いこそ、新たな自分と出会うチャンスだといいます。
 それはどのようなことなのか、朝日新聞「わかるわかる運動」が、日能研に聞いてみました。



右にあるのは、日能研の小学3年生の授業で実際に使われている課題です。ぜひ、チャレンジしてみてください。この課題には、正解・不正解や模範解答は一切ありません。あるのは解答例だけ。それはなぜ—？

小学校低学年の子どもは、無限に広がる発想やアイデアを持っています。驚くほど大胆に、思うままに想像を巡らせ、広げ、つなげていく。まるで大海原を自由に泳いでいるかのよう。日能研ではこれを「ファンタジー」と呼んでいます。この時期に大切なのは、大人が決めたモノサシや「当たり前」で、子どもの自由な発想を止めてしまわないこと。では、何が大切なのか。それは、子どもが楽しみながら考え、仲間と意見をキャッチボールしながら、自分で自分の答えを探し、つくっていくこと。「私」が、私自身の考えと出会う瞬間です。

右の課題に向き合うとき、日能研では子どもたちにこんな問いかけをしています。「キミが一番好きな色は？」
 「その色のどんなところが好き？ どんなイメージを持っている？」これはいわば、ひと滴の水滴を、子どもの思考という澄んだ水面に垂らすようなもの。そうして内なるものが動き出したとき、まるで広がりが続ける波紋のように、子どもは「ファンタジー」の世界に没頭していきます。

自由な発想の先には、正解・不正解を問う問題では得られない大きな収穫があります。「迷い、考え、楽しみ、やってみる」という体験は、たとえ目の前の課題に答えられなかったとしても、別の場面で活かせるかもしれない。そう、それは人生を切り拓いていくための「礎」となるのです。低学年での学びを確かなものにするために。子どもが自由に「考える」ための環境が、日能研にはあります。

みんなの一番好きな色は？
どんなところが好き？

オレンジって
どんなイメージ？

ピンク
かわいい！

夏！
あたたかい

赤
カッコいい！

ハロウィン
元気な感じ！

青
なんとなく
キレイ

わたしは秋！
紅葉の秋だから

ぼくは冬！
みかんの色！

内なる「私」の数だけ答えがある。
 たくさんの答えが人生を豊かにする。

日能研経由、私学へ。—そして未来へ。 考え方と出会う！—【科目】国語・算数・総合

日能研 学ぶチカラテスト

12月2日

小2

小3

小4

小5

参加無料

【科目】3科目(国語・算数・総合) 【会場】お近くの日能研各校 【時間】1回目 9:00集合 / 2回目 13:00集合
※一部、教室によって実施要項が異なります。詳しくは日能研ホームページでご確認ください。

日能研 全国テスト

11月4日

小2

参加無料

詳しくはホームページへ。



保護者会同時開催！

今回のテストについて、そのねらいや今後の学びなど、詳しくお話しします！

テストの詳細・お申し込みは 以下のQRコードからも！

日能研

検索

学校行事などで都合がつかない場合はどうぞお気軽にご相談ください。

日能研

検索

またはお近くの日能研へ！

課題にチャレンジしてみよう！



下記は、日能研の小学3年生のテキストからの課題です。お子さまに取り組んでいただき、「私のこたえ」に記入後、紙面から切り取って、お近くの日能研の教室にお持ちください。日能研オリジナルグッズを差しあげます。この課題には「正解〇」も「不正解×」も「模範解答」もありませんが、なにか新たな気づきがあるかもしれません。日能研スタッフ一同、お子さまの自由な発想を楽しみにお待ちしております。

あなたも「色」を使った言葉を一つ、自由に考えて作ってみましょう。そして、その言葉がどのような意味を持つのかを書いてみましょう。

課題

あなたは、「白」という色からどのようなことを思い浮かべますか。「雲」「アイスクリーム」といった、「白いもの」を思い浮かべる人がいたり、「清潔だ」「何もまざっていない」といった、「様子」を思い浮かべる人がいたりするでしょう。「色」は、人に何かを想像させる力を持つことができるでしょう。日本語には「色」を使った言葉があります。たとえば次のような言葉です。

白い目で見る

目には「白目」という部分があります。だからといって、この言葉は「白目で見ると」という意味を持つわけではありません。実は「冷たい目つきで人を見る」という意味を持つのです。この言葉は、むかし中国のある学者が、きらいな密に会うとき、白目を見せたという話からできたといわれています。しかし、そのような話があったからといって、「白目で見ると」という言葉が使われるようになったのでしょうか。もしかすると、「白目で見ると」という言葉が想像しやすいため、みんなが「白目で見ると」という言葉を使うようになったのかもしれませんが、人ひとりが色から感じたこと、見聞きしたできごとを結びつけたことで、「色」を使った言葉ができて、広まったのかもしれない。

昔からの知恵にふれよう(慣用句)

〈私のこたえ〉

		言葉
学年 小学		
年生		

〈私のこたえ〉をお近くの日能研の教室にお持ちください。日能研オリジナルグッズを差しあげます。

※お持ちいただいたなかで、私たち日能研が出たことのない、思わず「なるほど!」といってしまうような(私のこたえ)は、日能研のホームページで紹介させていただく場合がございます。

【実施期間】2018年10月28日(日)～11月11日(日)
 【受付時間】月曜日～金曜日:14時～19時、土曜日:14時～18時、日曜日:9時～15時
※一部、教室によって受付時間が異なる場合がありますので、日能研のホームページにてご確認ください。
 【実施教室】東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城の各教室
※勝どき校は、開校準備中により、11月11日(日)9時～15時のみの受付になります。 日能研の教室案内 検索
 【対 象】小学2年生～5年生